

て、議案第59号 平成26年度真岡市一般会計補正予算(第4号)、本3案は全議案別第36条第3項の規定により委員会の付託を省略し、直ちに採決したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○質疑第一議員 ご異議なしと認めます。

よって、本3案は委員会の付託を省略し、採決することに決しました。

これより討論に入ります。討論の通告がありますので、順次発言を許します。

26番、佐藤和夫議員。

(26番 佐藤和夫議員登壇)

○26番 佐藤和夫議員 おはようございます。議席番号26番、佐藤和夫です。

議案第57号 真岡市ケーブルテレビ施設の設置及び管理条例の制定について、議案第58号 真岡市ケーブルテレビ施設整備に係る備品の取得について、議案第59号 平成26年度真岡市一般会計補正予算(第4号)についてであります。反対の立場で討論をさせていただきます。

最初は、私自身はこの案については大賛成でありました。それは、さかのぼってちょっと話をさせていただきたいと思いますが、先月9月19日に議員協議会があり、その中で執行部からいちごてれびがこういうような形になって破産してしまった、破綻してしまったというふうな説明がありました。そのときに執行部から出たのは、きょうの10月24日に臨時議会を開きたい、その

中で初期費用としてどうしても2億9,000万が必要になる、そして視聴料が7,000万入るので、2億2,000万円の補正予算を組んで臨時議会を開きたいのだというふうなことでありました。私も加入者でありますし、そしてまたこの地域に根差すケーブルテレビとして絶対残さなければいけない、そう思っておりました。このケーブルテレビは平成4年4月に開設され、資本金4億1,000万、真岡市も1,200万を出資しているわけでありまして。本当に多くの方が出資し、そして今までに現在に至っているわけでありまして。当然本当に地域に根差しているケーブルテレビでありますので、私も絶対に残すべきだと思っていました。

本当に私は単純にそのときには、2億2,000万出せば、これ継続していけるのだなと思いましたが、これは絶対にこれからもそのような形でいくべきだろうと思っていたのですが、1週間前の10月17日議員協議会がありました。そのときまでに議員から質問状を出せば、そのとき回答しますというふうなことで、そのときにいろいろな執行部から答弁をいただきました。そのときにちょっと驚いたのであります。

数字的なものをちょっと、そのときのことを述べさせていただきますと、10月24日の臨時議会に最初は、先ほど言いましたように2億2,000万の支出でいきたいというふうなことでありましたが、実際に先ほど市長のほうから提案ありましたように、

2億8,173万8,000円がきょう補正予算組まれたわけで、何でこんなにこの期間に6,000万以上のお金がふえてしまったのかな、どういう試算の中でしたのかなとちょっとクエスチョンマークが出ました。

そして、その後が私ちょっとびっくりしたところなのですが、その後、今後5年間でどのくらいの支出があるのかなというふうなことで質問があったので、執行部から答弁がありました。ちょっと述べさせていただきます。平成27年度支出の総額が2億5,400万円、その中に指定管理者分が4,600万、平成28年度が3億7,300万、指定管理者分用が8,000万円、平成29年度支出総額が1億1,500万円、指定管理者分が4,300万円、平成30年度の支出が3,000万円、指定管理者分が2,700万円、平成31年度支出の総額が300万円というふうなことで、私は当初2億2,000万で再スタートできるのだなと思っていたのですが、この前の議員協議会の中で聞いた総額を足しますと、今後5年間で支出するのが10億5,673万8,000円になるのです。こんな巨額になってしまうのかなというのがちょっと私はびっくりしているところであります。

それで、そのほかには先ほどこの前の議員協議会で話した中では、現在は加入世帯が3,124世帯で11.2%である、そして損益の分岐点については18%であるというふうなことがありました。そういう中で、今後は一軒でも視聴する家庭をふやすために、

初期費用でありますものを5万7,000円を負担しようというふうなことであります。実際18%にするのには、この前も話がありました、5,188世帯にしなければ18%クリアできないわけであります。そのためには、2,064世帯をふやさなければいけないわけであります。その費用としては1億1,764万8,000円がかかります。そのほかには議員のほうから質問があって、今後ケーブルの張りかえ等はどうかのだろうというふうなことで出ましたが、そのときの答弁が2億8,000万円、先ほどの費用と合計しますと3億9,764万8,000円。そうすると、最初に説明したのとトータルしますと、全部で、もう今この5年間でわかっている金額だけで14億5,438万6,000円になるわけあります。

私は、実際これでは済まないと思っております。真岡のケーブルテレビも、最近になってからデジタル化になりました。本当は、もうできれば私にしてみれば、もっと何年も前からデジタル化にしてほしいなと思っていた。やっぱりそういうふうなものというのは予算的なものもあるし、やっぱりいろいろな諸事情があったからそういうふうな形になっているのかなと思います。

しかしながら、今このメディアといいますか、ネットといいますか、こういう社会というのは物すごく日進月歩で進んでおります。もう今までとは比べ物にならないほど速いスピードで進んでいるのがこの世界

であります。そして、皆さんもご存じのように、今テレビはハイビジョンの時代はもう終わってしまいました。もう4Kの時代に入っているのです。皆さんもご存じだと思いますが、4Kというのは今のハイビジョンの4倍の密度があって、それだけ映りがいいのです。当然そういうふうな設備をするためには、また何億もかかるような、そういうふうな設備をしないと見ることができない。当然私も電気屋さんに行って聞きました。もう今ハイビジョンのテレビ買う人いないのですと、4Kのテレビしか買う人いないのですということであります。当然、先ほども言いましたように、その4Kに対応した、ケーブルテレビでも設置をしなければ、設備をしなければいけないというふうなことであります。そうすると、また何億もかかるのかなというふうなことがあります。本当に先ほど来言っていますが、物すごくこれはもうこれからもどんどんと進化していきますので、このスピードは本当に立ちどまることができないのかなと思っております。

そして、2020年には東京オリンピックがあります。今は、私は前にもちょっと質問させていただきましたが、Wi-Fiにしてもいろいろなメディアとか通信技術、ICTも含めて、そういうのが物すごく急加速していますので、それに対応したことをこれからやらなくてはならないのかなと思っております。今までは企業でありますの

で、ある程度予算の範囲でやったりするということではありますが、当然今度行政でやるときには、これインフラ整備になりますので、もう絶対待ったなしの整備が必要になってきます。そのときどうなのかなという部分があります。

そして、この前の説明のときに、これをやるのはやっぱり難視聴地域がある、災害のときに困る、ということもありました。それで、私も電気さんにこれ聞きました、どうなのですか。「いや、佐藤さん、今実は難視聴地域ないんです」ということなのです。基本的に電気さんに聞きましたら、アンテナを立てるときにはスカイツリーに向けてやる、多面的には宇都宮の八幡山公園のほうにアンテナを向けてやる。だめなときには、今度は今益子の西明寺に基地局できたのだそうです。そこに向けると、全ての家庭がカバーできるのだそうです。ですから、電気さんも、もしものことがあるので100%とは言えないけれども、99%の家でそういうふうなことができるのですというふうなことであります。

こういうような形でいくので、恐らく可決成立していくのだと思うのですが、一つの策としては、今現在3,124世帯がケーブルテレビ契約しております。もしここでお金をかけないですぱっとやるとしたら、電気さんに聞いたら、普通の家だったら3万円ぐらいかけていただければアンテナ立てられます。3階とか特殊な屋根の家だっ

たら5万円ぐらい、極端なこと言えば、市でもお金出していますので、本当に3,124世帯に、その全ての家にアンテナ立ててあげますというふうなことがもしてできるのであれば、この事業も終わりになるのかなと。

ただ、私はこの事業は本当は継続するべきだと思っでは、先ほども言いましたように、賛成の立場で言ったのですが、余りにもこれから膨大なお金がかかり過ぎる。今真岡市は第11次市勢発展長期計画の素案、原案づくりをしております。これは本当に今の段階で15億円、そして4Kの設備をする、今後の、もう既に22年たっていますので、いちごてれびができて、当然いろいろな機器の交換や新設も含めて、今言った4Kの設備もいろいろしなくてはならないときには、あつという間にもう本当に20億、30億のお金を使ってしまうのではないかなと思っております。

19日の日に、私らは議員協議会で説明を受けました。そして、質疑の日の20日の日に新聞紙上載ったときに、多くの市民から、何で10%そこそこしか使わない人にこれから税金投入するのだ、しないでくれという声も多くいただきました。これが本当に市民の声。利用していない人にすれば、そういうところにお金をかけるのはちょっとまづいのではないかなと。それもそうだなというふうな部分もあります。そこら辺のギャップもあるので、私もちょっと難しい部分があるのですが、そういうものを受けて

も、やっぱり最終的にはこういう判断は難しいのでありますが、私は100%反対ではないのです。しかしながら、やっぱり今後のお金のかかるステップを考えていったときには、ちょっと難しいのかなと思っております。

終わります。(拍手)

○青柳第一議員 市長、おはようございます。
(市長 応答 質疑応答終了)
○24番 議員 其議員 おはようございます。真岡クラブ・公明の意見でございます。私は、さきに通告をいたしましたとおり、議案第97号 真岡市ケーブルテレビ施設の設置及び管理条例の制定について、議案第98号 真岡市ケーブルテレビ施設整備に係る物品の取替について並びに議案第99号 平成26年度真岡市一般会計補正予算（第4号）の3議案について、もろか未来及び真岡クラブ・公明を代表いたしまして賛成の立場から討論を行うものであります。しばらくの間ご静聴願いますようお願い申し上げます。
さて、真岡ケーブルテレビ株式会社は平成25年7月1日の開局以来、ケーブルテレビ放送やインターネット通信サービスはもろんのこと、文字放送による行政情報やテロップ表示による緊急情報など、放送事業を運営して来たところであります。また、真岡市テレビ基本計画の推進役人として、真岡市の地域情報化推進の一翼を担ってまいりました。